



2026 年 9 月 24 日

株式会社北洋銀行

各 位

## 北洋銀行グループと一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが連携し 経済産業省「未来の教室」実証事業が採択されました

株式会社北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム(以下、「CPF」と連携し、経済産業省 令和 8 年度「学びと社会の在り方改革推進事業(「未来の教室」実証事業)」において、北海道ブロックの実証事業に協力機関として参画することとなりましたのでお知らせいたします。

当行は、本年 5 月に CPF と包括連携協定を締結し、北海道の公立高校の活性化と次世代人材育成を目的に、当行の寄付により「北海道 地域みらい留学奨学金」を共同で創設するなど、教育を起点とした地域づくりに取り組んでおります。

AI やロボットなど先端技術の発展により社会・産業構造が大きく変化する中、理系人材やエッセンシャルワーカーの担い手不足が見込まれています。北海道においては、半導体や GX などの新産業と、農業・観光など基幹産業の持続的な成長のために、多様なステークホルダーが連携した人材育成エコシステムの構築が重要です。

本実証事業では、当行グループおよび CPF を中心に、経済産業省北海道経済産業局、株式会社北日本広告社等と連携し、北海道における人材育成エコシステムの構築・実装に向けた取組を推進してまいります。

### 記

#### ○実証事業の概要

##### (1) 企業向け普及・ネットワーク構築

道内産業・経済界とのネットワークを活用し、「人材不足＝採用課題」ではなく「教育への関与＝経営戦略」という認識を道内企業に広げ、教育現場へ主体的に参画する企業ネットワーク構築に向けた実証を行います。

##### (2) 小中高生・保護者向け理系分野への関心醸成

AI やロボットなどの先端技術や地域を支える科学技術を体験できるイベントを開催し、小中高生とその保護者が楽しみながらデジタル技術に触れ、理系分野を身近な進路の選択肢として捉えられるような啓発活動を行います。

##### (3) 栗山町におけるモデル実証

栗山町をフィールドに、福祉分野をはじめとするエッセンシャル産業でデジタル技術を活用できる人材を小中一貫で育成する、産学官連携による先進モデルの実証を行います。

#### 《実施体制》



※参照 「未来の教室」実証事業 URL

[https://www.meti.go.jp/policy/servicepolicy/mirai\\_no\\_kyoshitsu/mirai\\_no\\_kyositsu.html](https://www.meti.go.jp/policy/servicepolicy/mirai_no_kyoshitsu/mirai_no_kyositsu.html)

以 上

#### 《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。